

2014年10月期(33期)決算説明 2015年10月期(34期)事業計画

代表取締役 堂山 道生

平成27年2月17日

株式会社システムディ

The logo for SystemD, featuring the word 'SystemD' in a bold, sans-serif font. The 'D' is stylized with a blue and white swoosh that curves around its right side.

システムディ会社説明会
於：大阪銀行協会

(2014年10月31日現在)

社名	株式会社 システムディ
代表者	代表取締役 堂山 道生
創業	1984年8月14日
資本金	4億8426万円
役員・従業員数	194名(内シンク8名、新公会計研究所11名)
事業内容	特定業種向けのパッケージシステムの開発・販売
取引銀行	三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、滋賀銀行、京都銀行
発行済株式数	3,249,000株
株主数	2,257名
資格	ISMS認証(ISO 27001)、プライバシーマーク付与認定
所在地	本社 : 〒604-8172 京都市中京区烏丸通り三条上る 東京支社: 〒105-0012 港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル6F
主要顧客	NTT東日本、NTT西日本、NEC、富士通-富士電機、日本事務器、大塚商会、京セラ丸善SI、大学、フィットネスクラブ、自治体、民間企業 他
主要仕入先	マイクロソフト、富士通、NEC、トレンドマイクロ 他

中期計画の初年度、計画値を達成

**増収増益 売上は過去最高の2,423百万円で前年比112%
経常利益は前年比135%で179百万円**

**ストック収入(サポート・クラウドサービス収入)が586百万で前年比110%
安定した経営基盤を拡大**

**主力事業の学園ソリューション事業が全社業績を牽引
学校法人会計制度変更に対応した新バージョンが好調
他先行事業も計画通り推移**

**新規事業が伸び悩む
公教育ソリューション事業は高価格対応で失注続く
公会計ソリューション事業は総務省方針の決定の遅れが影響**

2014年度10月期 決算概要

当初計画比

(単位:百万円)

	2014年10月期 計画値	2014年10月期		
		実績	計画増減	計画比 (%)
売上高	2,410	2,423	13	100.6
売上総利益	996	990	△ 5	99.4
営業利益	163	188	25	115.8
経常利益	150	179	29	119.4
当期純利益	143	185	42	129.4

前年同期比

(単位:百万円)

	2013年10月期	2014年10月期		
		実績	前年増減	前年同期比 (%)
売上高	2,171	2,423	252	111.6
売上総利益	883	990	106	112.0
営業利益	141	188	47	133.5
経常利益	132	179	46	135.4
当期純利益	132	185	52	139.9

貸借対照表

JASDAQ
3804



(単位:百万円)

		2013年10月期	2014年10月期	
			実績	増減額
資産合計	流動資産	1,124	1,245	120
	固定資産	1,898	1,906	8
		3,023	3,151	128
負債合計	流動負債	1,097	939	△ 158
	固定負債	604	715	111
		1,702	1,654	△ 47
純資産合計		1,320	1,496	175
負債純資産合計		3,023	3,151	128

■ キャッシュ・フロー計算書

JASDAQ
3804

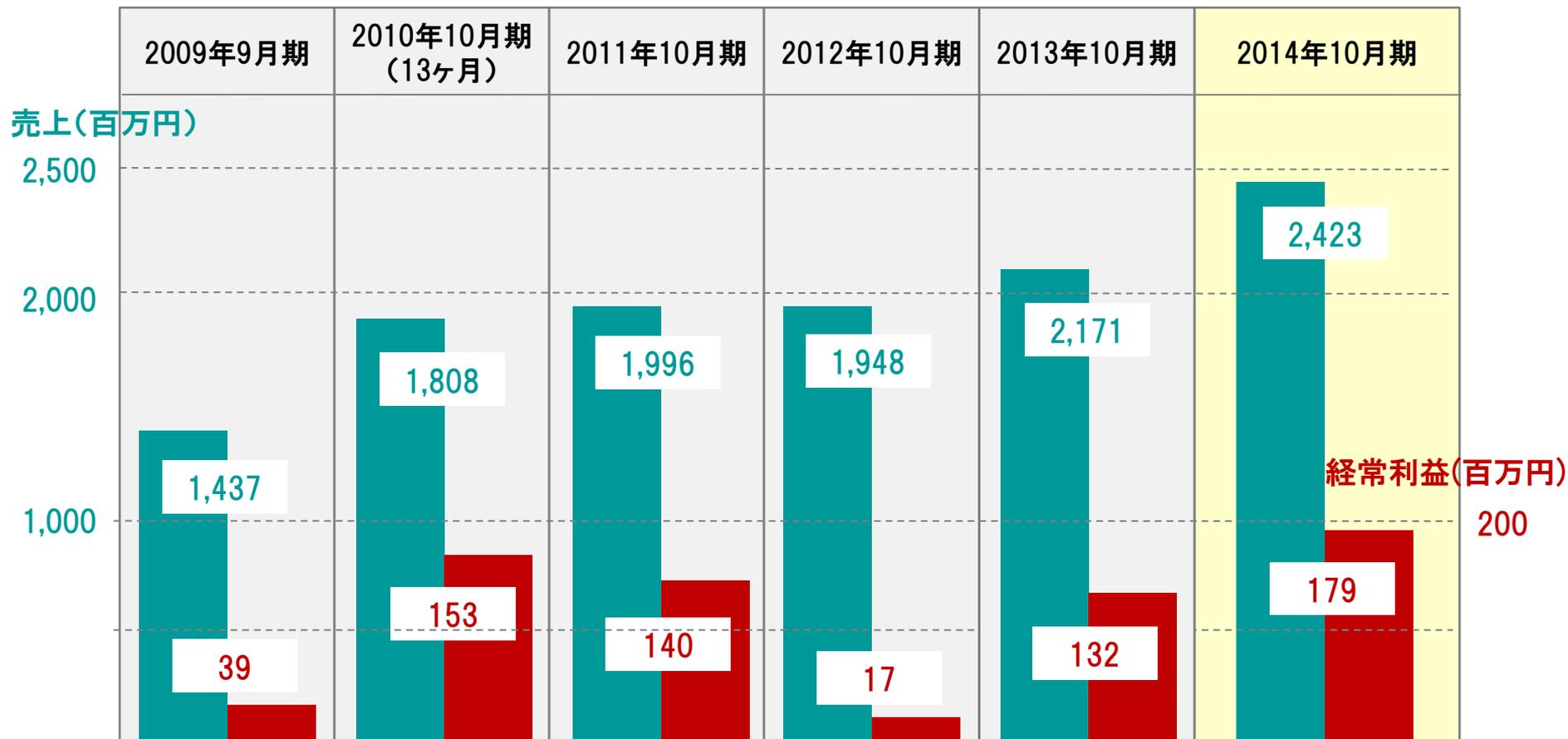


(単位:百万円)

		2013年10月期	2014年10月期
	営業活動によるキャッシュ・フロー	130	404
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 333	△ 268
フリー・キャッシュ・フロー		△ 202	136
財務活動によるキャッシュ・フロー		303	△ 158
現金及び現金同等物の増減額		101	△ 22
現金及び現金同等物の期首残高		241	342
現金及び現金同等物の期末残高		342	320

売上高・経常利益の推移

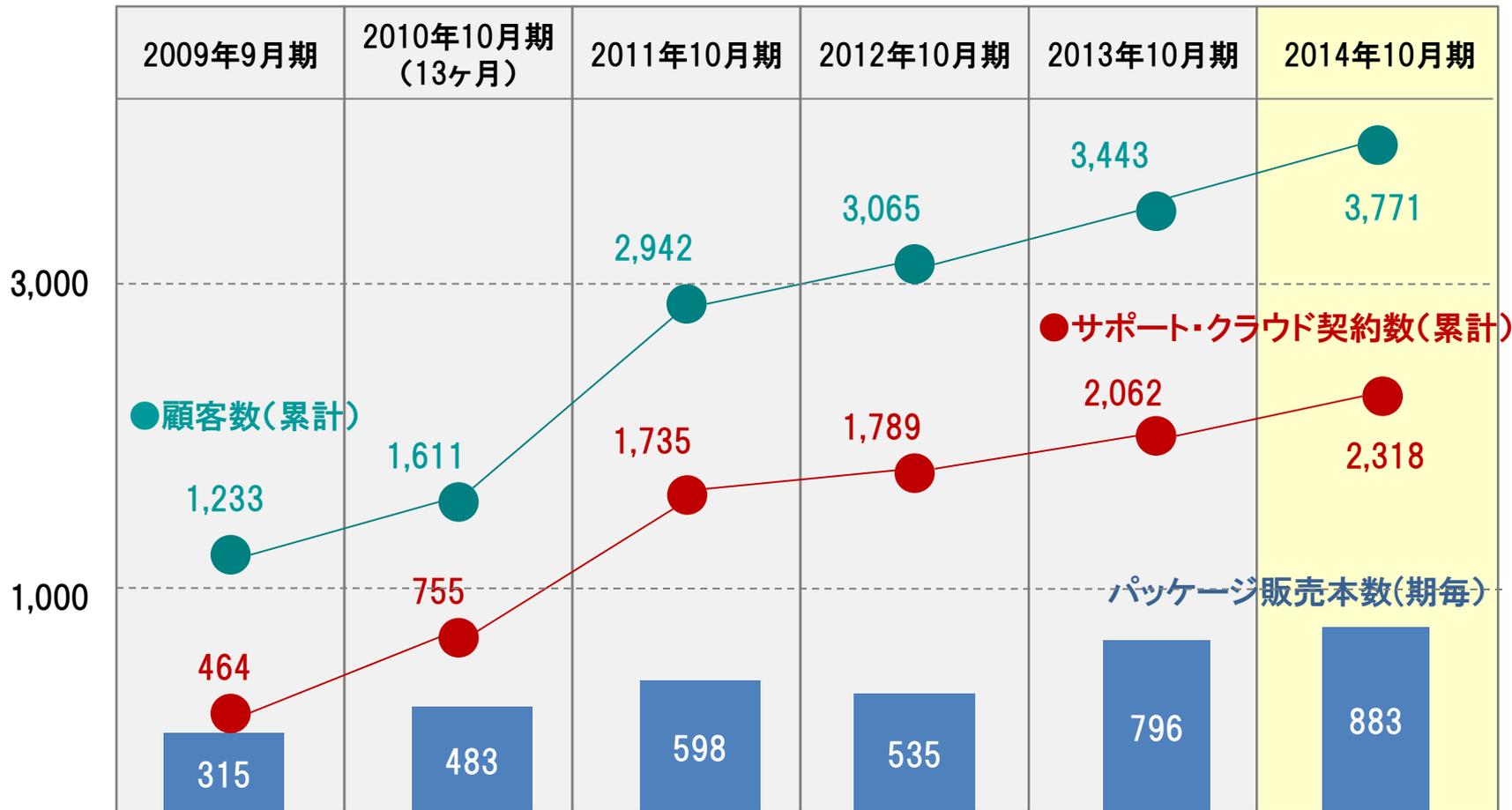
JASDAQ
3804



※ 2010年10月期以前は個別数値、2011年10月期以降は連結数値を記載しております。

顧客数・サポート契約数・パッケージ販売本数・ストック 収入の推移

JASDAQ
3804



■ ストック収入(百万円)の推移

312	359	434	449	532	586
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※ 2010年10月期から公教育、2011年10月期からシンク、2013年10月期から公会計を加えた数となっております。

システムディのパッケージビジネス

パッケージソフトによるトータルソリューションの提供

完全注文生産(オーダーメイド)

一般のパッケージソフト (レディメイド)

CD-ROMやDVDなどの記憶メディアに記録され、包装された(packaged)状態で販売されている既成の市販パッケージソフトウェア

システムディの自社パッケージによる トータルソリューション (イージーオーダー)

自社開発のパッケージソフトをベースに、顧客や利用者が抱える業務上の問題点を解決し要求を実現するだけでなく、提案から導入・保守まで総合的にサポートし、問題を解決するサービス

■ 業種特化パッケージの優位性

JASDAQ
3804



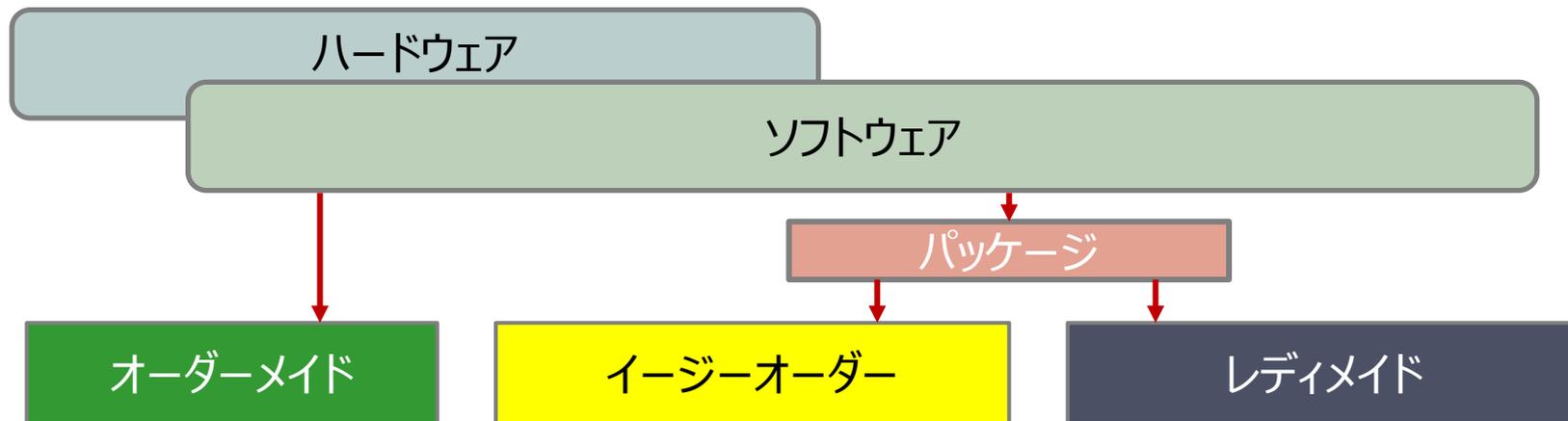
	コスト	カスタマイズ	機能性	総合性	システム更新
オーダーメイドソフト	× 高価	○ 可能	△ 顧客要望次第	△ 顧客要望次第	× 再構築が必要
レディメイドパッケージ	○ 安価	× 不可能	× 狭く、浅い	× 部分対応	○ バージョンアップ
業種特化の イージーオーダー パッケージ	○ リーズナブル	○ 可能	○ 業界標準を装備	○ 業種総合性	○ バージョンアップ

■ システムディの事業領域

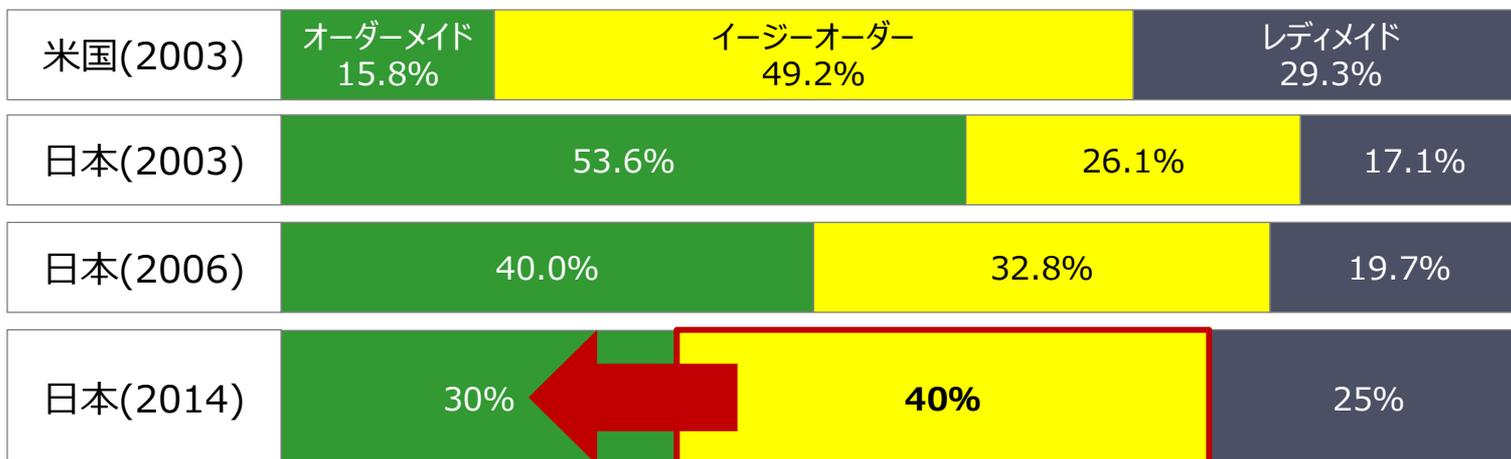
JASDAQ
3804



■ システムディは業種に特化したパッケージの開発・販売を事業領域とし、ユーザの要求に基づき必要なカスタマイズを加えてイージーオーダーソフトとして提供します。



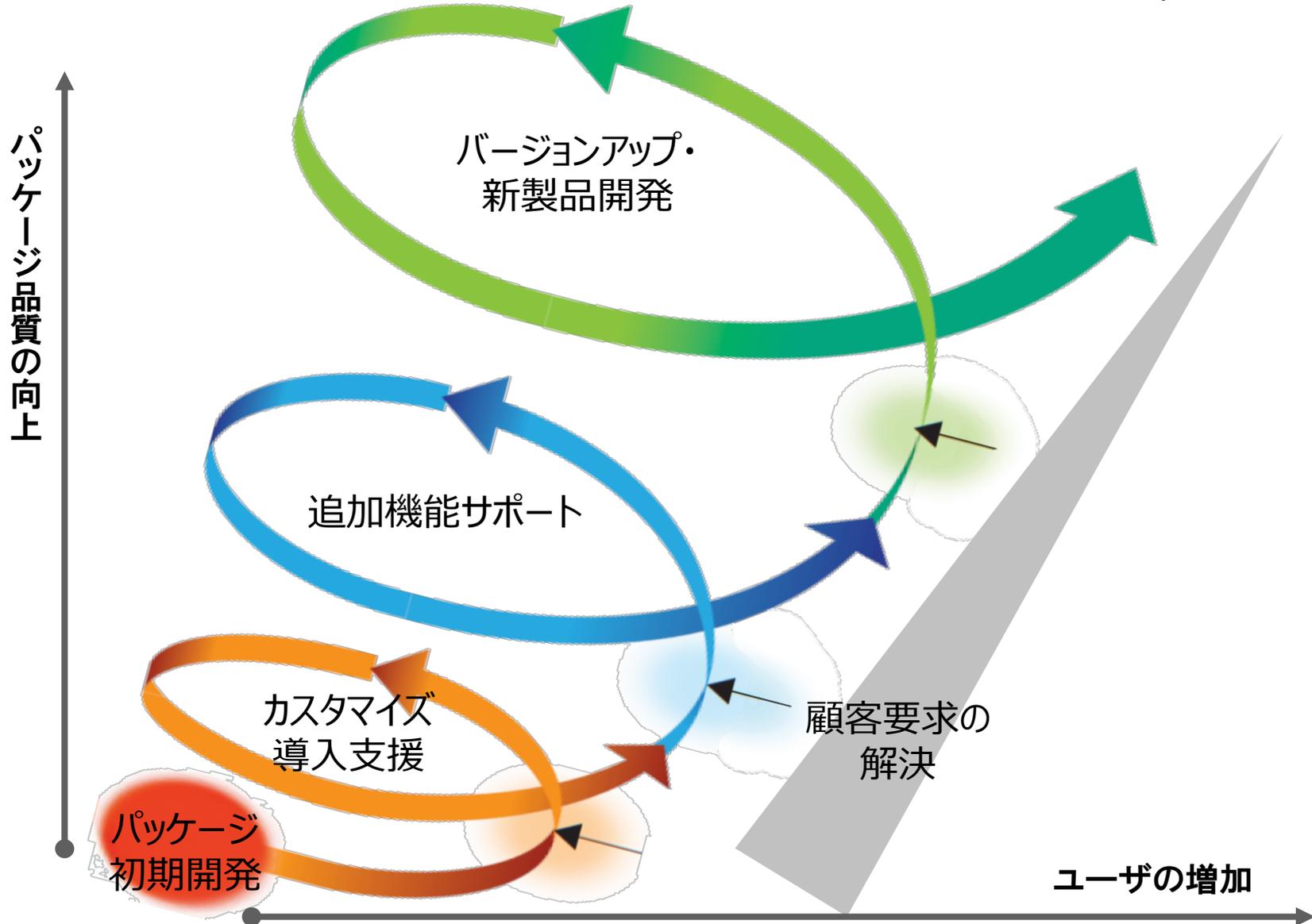
■ パッケージソフトウェアの使用比率



総務省「情報通信白書」(2006年版)をベースに当社で作成

■ システムディのパッケージは進化する

ソフトウェアの品質の向上とユーザーの増加がスパイラルに発展するシステムディの業種特化パッケージ



■ 先行事業4部門

(2014年10月末)

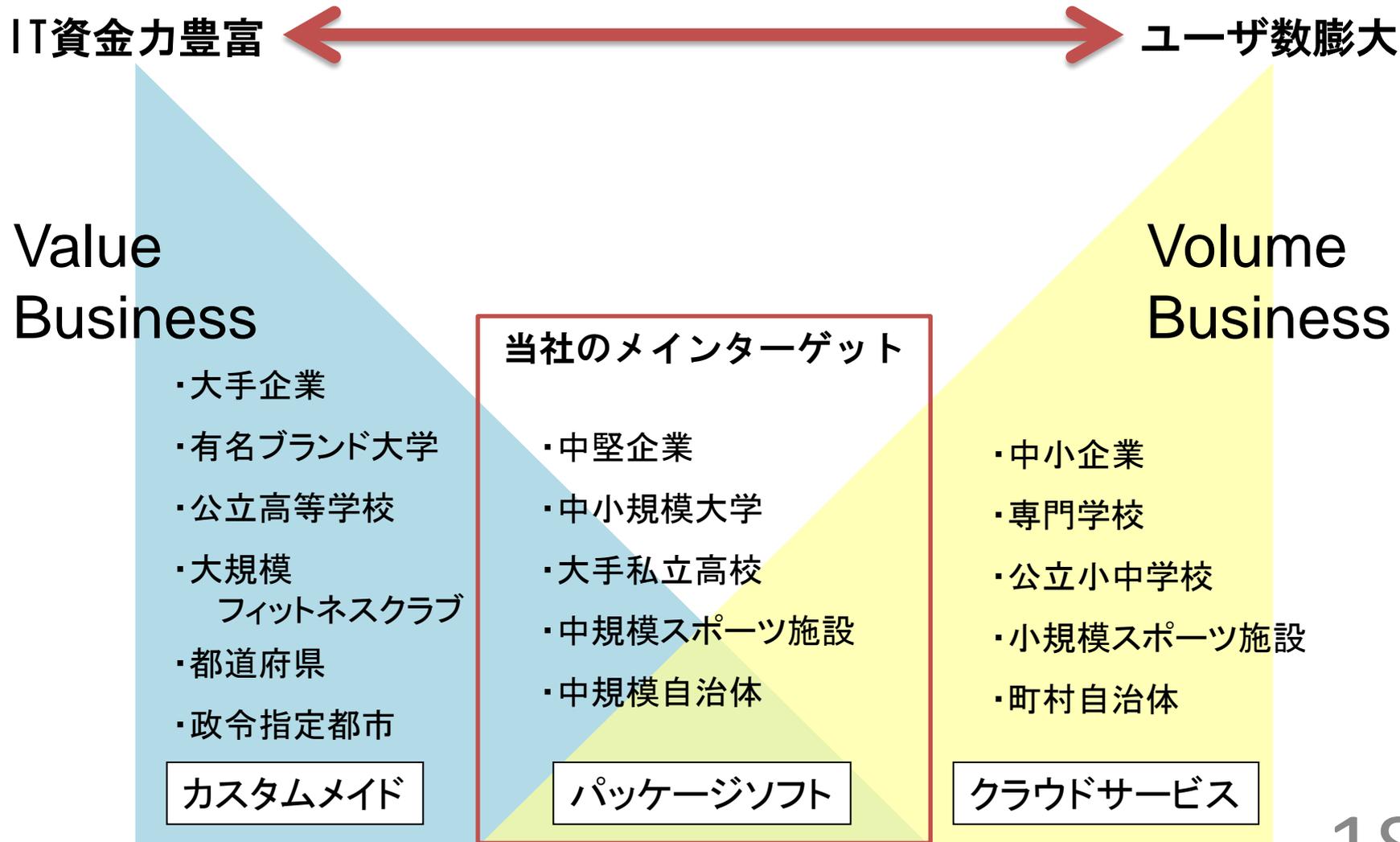
	事業概要	主なユーザ	累計顧客数
学園ソリューション	トータルソリューション【キャンパスプラン】及びクラウドサービスでトップシェア。	日本大学、帝京大学、中央大学、上智大学、成蹊大学、大阪医科大学、滋賀医科大学、東京藝術大学、京都造形芸術大学、國學院大學久我山高専、洛南高専 等	904
ウェルネスソリューション	フィットネスクラブ・スイミングスクール向け会員・運営管理システム【Hello】を提供。	東急スポーツオアシス、マックススポーツ、ヴェルディ、京都テルサ、尼崎スポーツ、メガスポーツ（スポーツオーソリティ）、トータルワークアウト、コナミスポーツ&ライフ、関西TVライフ等	643
ソフトエンジニアリング	企業、学園、公益法人のコンプライアンス、コーポレート・ガバナンス支援製品。	江崎グリコ、エバラ食品、はごろもフーズ、小林製薬、中外製薬、電通、千趣会、スクウェアエニックス、ナムコバンダイ、日本貿易振興機構、その他大学、病院 等	199
薬局ソリューション (株式会社シンク)	調剤薬局向けレセコン【GOHL】及び【薬歴情報電子ファイル】を提供。安定したストック収入を確保。	大阪、和歌山、京都、滋賀、奈良、兵庫、東京、神奈川、埼玉、群馬、茨城、岩手等の保険薬局	1,207

■ 新規事業2部門

(2014年10月末)

	事業概要	主なユーザ	累計顧客数
公教育 ソリューション	公立小中高校向けの校務支援サービス【School Engine】を提供。国内初のクラウド型サービス。	静岡県・和歌山県・岩手県・香川県・宮崎県・山形県・広島県・千葉県の各県立高校、京都市・奈良市の市立高校、その他全国の小中学校	572
公会計 ソリューション	総務省の公会計新統一基準に対応した固定資産台帳システムと複式簿記決算システムを提供。	新潟県、山形県、静岡県、奈良県、広島県、杉並区、目黒区、港区、中野区、川崎市、千葉市、高松市、津市、その他市町村	186
株式会社 新公会計 研究所	地方公会計制度に関する調査研究、システムの導入支援、コンサルテーション。	コンサル業務：札幌市、習志野市、相模原市、横浜市、足立区、杉並区、練馬区、目黒区、前橋市、堺市、広島市、沖縄県伊江村等	50

中期計画の進捗



■ 中期計画値(2014年10月期～2016年10月期)

JASDAQ
3804



(単位 百万円)

	2014年10月期 (33期)			2015年10月期 (34期)計画	2016年10月期 (35期)計画
	計画	実績	差異		
売上高 (前年比)	2,410 (111%)	2,423 (112%)	↑13	2,841 (117%)	2,980 (105%)
営業利益 (前年比)	163 (115%)	188 (133%)	↑25	252 (134%)	403 (159%)
営業利益率	7%	8%	-	9%	14%
内ランニング 収入売上 (前年比)	578 (109%)	586 (110%)	↑7	620 (106%)	916 (148%)
ランニング収入 売上比率	24%	24%	-	22%	31%

※本部費用は含まず

学園ソリューション事業

- 投資原資を持つ有名ブランドスクールからのカスタマイズ要求に積極的に取り組みます。
- クラウド化の推進。【**キャンパスプラン for Azure**】のサービスを1月5日より開始しました。→21頁
- BtoBtoCサービス【**アンシサイト**】の提供を4月1日より開始します。→22頁

ウェルネスソリューション事業

- 会員・運営管理システム【**Hello**】の、クラウドでの提供比率が全出荷施設の50%を超えました。更にクラウド化を推進します。
- 地方自治体の予防介護施設の新規開拓を積極的に進めます。
- BtoBtoCアンチエイジングサービス【**ウェルディ・クラウド**】を4月1日より開始します。→23頁

ソフトウェアエンジニアリング事業

- 【**規程管理システム**】パッケージ・クラウドサービスの販売を、情報化投資に積極的な大手企業と中心にして、新規開拓を積極的に進めます。

薬局ソリューション事業（シンク）

- 引き続き、充実したサポート体制と薬歴情報管理等、顧客ニーズの高い周辺機能で顧客囲い込みを進めます。

Microsoftの【**キャンパスプラン for Azure**】のリリース記事

システムディが30年以上の歴史を持つ教育機関向け基幹システム「キャンパスプラン」のクラウド化にあたり、基盤として Microsoft Azure を採用

Nov. 26, 2014

教育機関のデータを安全に保護できる環境を重視した「キャンパスプラン for Azure」

日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 社長：樋口泰行、以下日本マイクロソフト）は株式会社システムディ（本社：京都府京都市中京区、代表者：堂山道生、以下：システムディ）が販売する教育機関向け基幹システム「キャンパスプラン」のクラウド化にあたり、マイクロソフトのクラウド基盤「Microsoft Azure」が採用されたことを発表します。システムディは2015年1月より私立の大学、短大、専門学校向けに『キャンパスプラン for Azure』を販売します。日本マイクロソフトはシステムディとの共同での教育機関向けセミナーなどを通じ、教育機関におけるクラウドの利活用促進を図ります。

「キャンパスプラン」は、1985年の発売開始以来、全国のべ900以上の教育機関で利用実績のある、教育機関向けとしては国内トップシェア（※システムディ調べ）を持つ学園向けのトータルシステムです。『キャンパスプラン for Azure』は「キャンパスプラン」のクラウド対応版となり、教育機関のお客様は最新の『キャンパスプランVer7.5』を月額利用料制で利用できるようになります。導入にあたっての初期コストが抑制できることに加え、繁忙期にのみサーバーリソースを増強するなどのニーズにも柔軟に対応可能です。またサービスはマイクロソフトの運営する日本国内のデータセンターより提供されるため、学内の重要なデータを海外サーバーに預けることなく、国内法の適用される環境で安全に保護しながら利用することができます。

日本マイクロソフトは、すでに国内の多くの大学、高校、専門学校などで利用実績のある『キャンパスプラン』のクラウド対応を通じ、教育機関のクラウド利活用促進を進めてまいります。システムディと多様なご提案活動、営業活動の協業を実施し、2015年中に「キャンパスプラン for Azure」の30校導入を目指します。

保護者向け BtoBtoC サービス【アンシン サイト】

親が子を案ずる心(=アンシン)、専用サイトを通じて学内の情報を提供することにより、安心していただくサービスです。

ワンタイムパスワード (メール承認) を使って、保護者に向けた情報を公開できるサービスです。

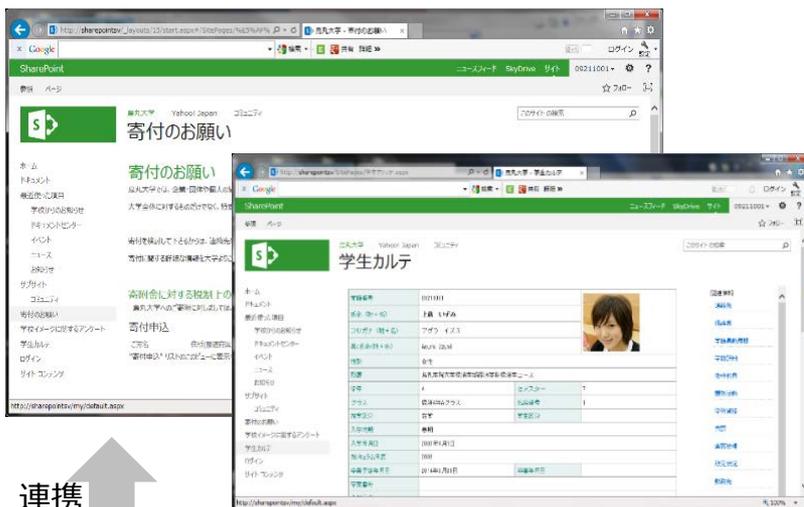


ログイン画面



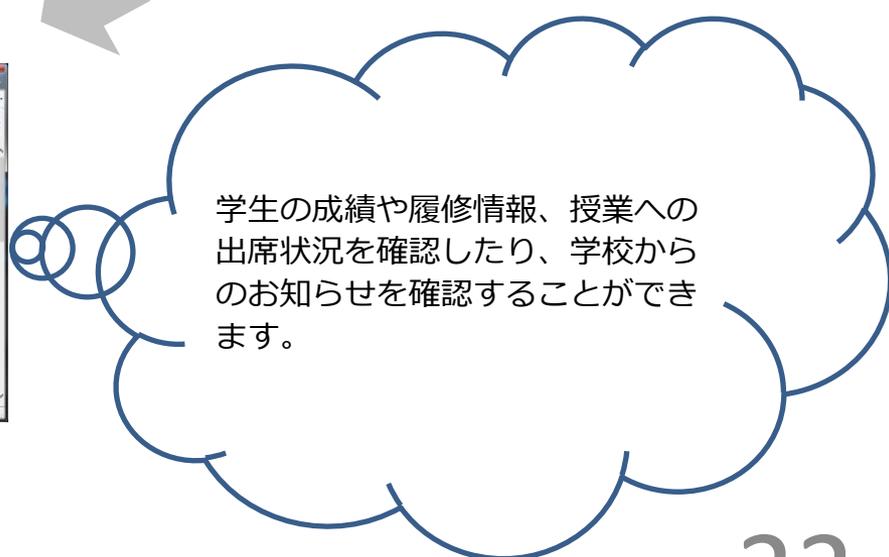
保護者向けポータルサイト

保護者の方が登録したアドレスにパスワードがメールで送付されます。



連携

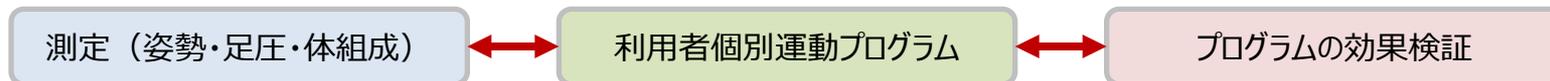
【キャンパスプラン】学籍教務情報システム



学生の成績や履修情報、授業への出席状況を確認したり、学校からのお知らせを確認することができます。

アンチエイジング BtoBtoC サービス【ウェルディ・クラウド】

健康増進の為の運動プログラムを利用者個別に提案するサービスです。利用者へのサービス・事業運営のサポート・事業及び提供サービスの効果検証・向上・修正の為のマーケティング機能をインクルードした総合サービスをクラウドで提供します。



- 1 基本情報 (会員管理)
- 2 来場 (参加回数)
- 3 来場時 コンディション
- 4 提案プログラムと参加履歴
- 5 テスト結果
- 6 運動経過
- 7 活動量記録・分析
- 8 姿勢測定・半径
- 9 足圧測定・判定
- 10 体組成測定・判定

ダッシュボード アクションボード 体組成 テスト バランス コンディション 活動

田中 太郎
タナカ タロウ
会員番号: 0000010625
利用開始日: 2014/09/01
最新来場日: 2014/12/03

男性
45 歳
1969/11/06

プログラム
オープニング(1)
姿勢改善(1)
開始日: 2014/11/02
心肺テスト: 2014/11/02
筋力テスト: 2014/11/09
回数: 20

目的
ダイエット
充電エネルギーメーター
Emptyまで 38 時間
147 kcal
ギープ最長日数: 67 日
総充電量: 8,869 kcal

コンディション
Date: 2014/12/03
68.2 kg 24.0 %
131-84 mmHg

活動量 (最近1か月)
168,600 歩
5,620 歩/日

姿勢 (2014/09/01)
正面 左正面

足圧 (2014/09/01)
23 % 24 %
27 % 26 %

体組成 (2014/12/02)
筋肉[kg] 脂肪[%]
2.4 2.7 17.0 19.0
8.9 8.6 21.0 17.0

■ 先行事業4部門の計画

JASDAQ
3804



(単位 百万円)

	2014年10月期 (33期)			2015年10月期 (34期)計画	2016年10月期 (35期)計画
	計画	実績	差異		
売上高 (前年比)	1,904 (101%)	2,032 (108%)	↑127	2,163 (106%)	2,130 (98%)
営業利益 (前年比)	361 (101%)	442 (124%)	↑80	406 (92%)	493 (121%)
営業利益率	19%	22%	-	19%	23%
内ランニング 収入売上 (前年比)		497 (107%)	↑5	522 (105%)	566 (108%)
ランニング収入 売上比率	26%	24%	-	24%	27%

※本部費用は含まず

公教育ソリューション事業

- 全国の公立高校、小中学校(各教育委員会)向けにクラウド型校務支援サービス【School Engine】を販売。
- 公立高校では、9県1政令市で採用されシェアトップに。
- 小中学校向けの校務支援サービスでは、先行企業の基盤が強いが、中高一貫教育の趨勢の中でニーズが増加。

公会計ソリューション事業

- 全国の180以上の自治体に導入実績がある新公会計システム【PPP】をベースに、先行事例のノウハウを取り入れ、総務省が発表したガイドラインに準拠した最新バージョンの【PPP Ver.4 新統一基準対応版】をリリース。
- (社)公会計研究センター会員のベンダー・会計事務所と提携して全国で営業展開。

新公会計研究所

- 新地方公会計制度に関する調査研究、研修を全国で実施。
- 道府県・政令市・特別区などの大規模自治体に新公会計導入コンサルティングサービスを提供。

■ 公教育ソリューション事業 全国の公立高中小学校(各教育委員会)にクラウド型校務支援サービス【School Engine】を販売

<p>校務支援 ティーチャーナビ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「te@chernavi (ティーチャーナビ)」は、校務処理に関する情報を一元管理し、教職員の校務処理を支援し効率化します。 ② 全ての機能はWebブラウザ上で利用することができ、わかりやすい画面遷移と、軽快かつ高い操作性でご利用頂けます。
<p>メール連絡網</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒保護者の携帯電話へ直接情報をメールで届けることで、保護者への確実な情報伝達を可能とします。 ② 多段階の階層構造によるアドレス管理で、自治体レベルでの広域連絡網の構築も実現できます。 ③ 保護者からのメール送信により、PTA会議や授業参観等の学校行事への参加者名簿の作成や、欠席届の連絡が出来ます。
<p>学校用グループウェア ミライム</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校の先生との共同研究によって開発された、学校運営特化したグループウェアで、最小限の操作で最大限の情報活用を実現します。 ② 校内だけでなく、教育委員会や学校間によるメッセージの受発信や情報共有が可能です。



『School Engine／校務支援システム (teachernavi) 』は、APPLIC (一般財団法人全国地域情報化推進協会) より、「地域情報プラットフォーム適合製品 (教育情報アプリケーションユニット) 」として推奨を受けました。

School Engineは東日本大震災復興支援クラウドフォーラムに参加しています。

■【School Engine】の導入実績(2014年10月末現在)

北海道

- 釧路市立北陽高等学校

岩手県

- 岩手県教育委員会 高校7校

千葉県

- 県教育委員会 高校3校
- 我孫子市教育委員会 小中学19校
- 匝瑳市教育委員会 中学2校

東京都

- (私学)淑徳小学校

神奈川県

- 南足柄市教育委員会 小中学9校
- 金沢中学校
- (私学)湘南学園 小・中学
- (私学)横須賀学院 小中高校3校
- (私学)横浜学園高校

福井県

- 敦賀市教育委員会 全小中21校
- 鯖江市教育委員会 小中15校
- 越前町立中学校 中学2校

長野県

- 岡谷市立 12校
- 富士見町町立 4校

静岡県

- 県教育委員会 高・特別支援校125校
- 磐田市教育委員会 小中33校
- 御前崎市立 7校
- 掛川市立 8校
- 菊川市立 12校
- 三島市立 21校

愛知県

- (私学)愛知中学・高校
- (私学)弥富市 私立高校

三重県

- 県立北星高校
- (私学)海星中学高校

京都府

- 福知山市教育委員会 全小中35校
- 京丹後市教育委員会 全小中39校
- 京都市立高校 9校

大阪府

- (私学)金蘭千里丘中・高等学校
- (私学)吹田市 私立高校 2校
- 河内長野市教育委員会 20校

兵庫県

- 県立阪神昆陽高校
- 県立網干高校
- (私学)甲南学園

奈良県

- 県立情報商業高校
- (私学)西大和学園中学・高校
- (私学)葛城郡 私立1校

和歌山県

- 和歌山県教育委員会 全高校44校

鳥取県

- 境港市立 全10校
- 西伯郡大山町立 全3校
- 西伯郡南部町立 全2校

広島県

- 県教育委員会 8校

徳島県

- 三好市教育委員会 1校

香川県

- 県教育委員会 全39校
- 綾歌郡宇多津町立 1校
- 小豆島町立 6校

愛媛県

- 松山市教育委員会 85校
- 西条市立 35校
- 伊予市立 5校
- 久万高原町 12校

高知県

- 四万十町 1校

福岡県

- 福岡県教育委員会 28校
- 宗像市教育委員会 24校

大分県

- 杵築教育委員会 全小中19校
- 国東市教育委員会 全小中18校

宮崎県

- 県教育委員会 38校

鹿児島県

- 霧島市教育委員会 小中49校

沖縄県

- 沖縄県教育委員会 小中高82校

■ 公教育事業33期と今後の見通し

33期の成果

- 市町村教育委員会案件の定額パブリッククラウドの安定稼働開始。＝長期安定収入。
- センター集中型県教育案件の導入コストの削減を実現。＝導入ノウハウの蓄積。

33期の停滞の原因

- 自治体入札制度の中で、自治体担当、選定委員及び地場周辺人脈への営業力の不足による失注。
- システム運用に不慣れな現場教員への訴求力・提案力不足。

34期以降の見通し

- 『マーケットはクラウド化の加速』完全クラウドで提供できるサービスは【School Engine】だけ。
※校務システムの普及率は政令・中核市60%、市町村10%、県教育委員会9県（2013年度末APPLIC調査）
- 総務省 個人情報保護条例の柔軟な運用・適用を検討→パブリッククラウドの利用促進。
- 市町村へのパブリッククラウドでのアプローチが本格化。
- 複数の県教育委員会が当社仕様で予算を申請中。
- S県より27年度予算でモデル校のテスト運用を受注。

■ 公会計ソリューション事業 全国の自治体に新公会計システムを提供

【固定資産台帳システム】

公共施設総合管理計画

【PPP Ver.4 新統一基準対応版】

企業会計原則(複式簿記)による決算処理

【改革】

地方自治体の財政(再建)計画

背景と経過

背景：小泉内閣・竹中総務大臣による行財政改革の提唱 2005年(平成17年)
固定資産台帳の整備と複式簿記による決算を要請 2006年(平成18年)

経過：2007年(平成19年) 複式簿記決算システム『PPP』(トリプルピー)を販売
→2013年10月までに180自治体に提供

2013年6月 安倍内閣 企業会計原則による公会計の実施を閣議決定

2014年4月 総務省 地方公会計新統一基準を発表

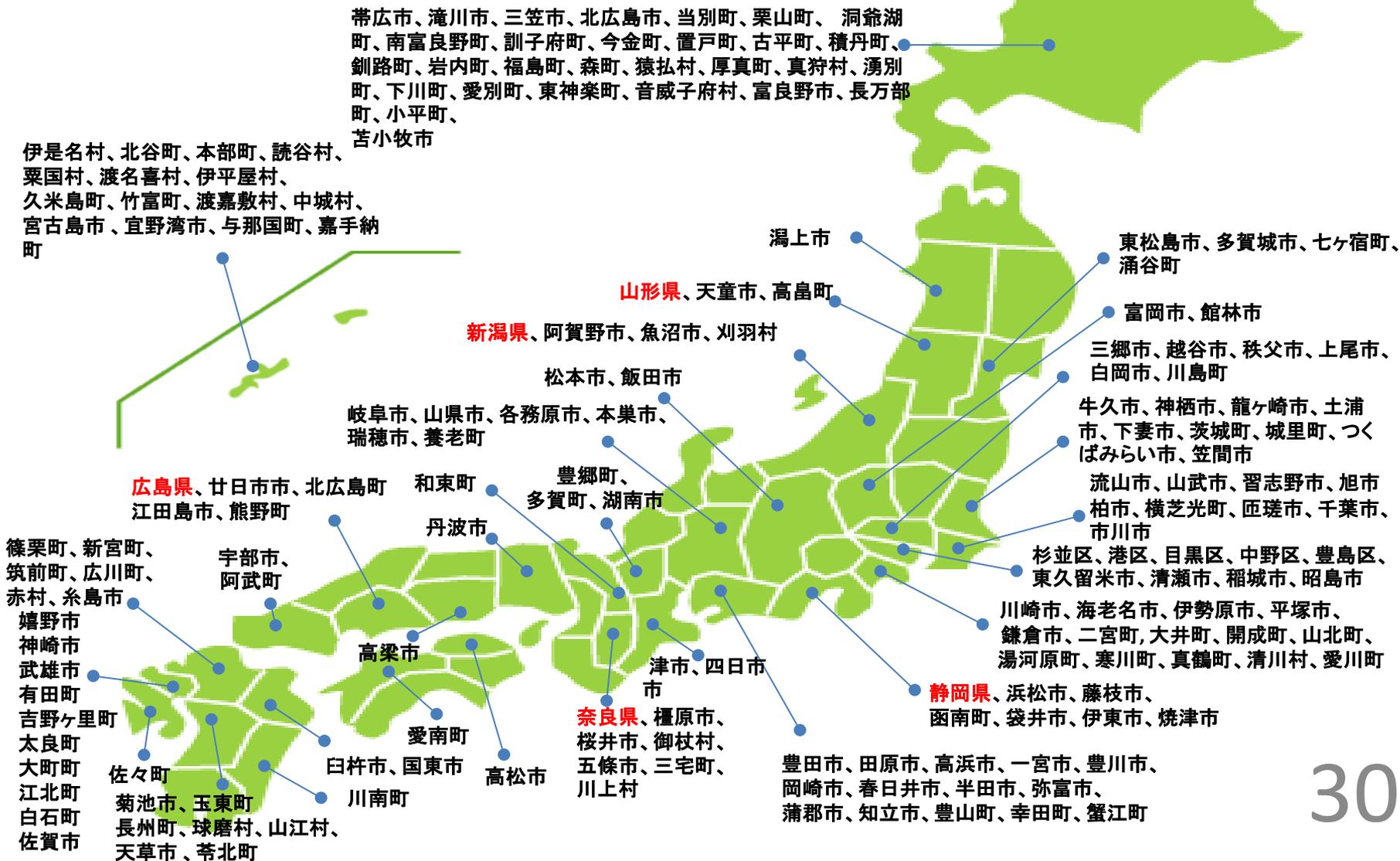
5月 独自システムの導入を承認した上で、無償提供ソフトの開発を発表

9月 総務省 作成要領 台帳整備の手引きを提示し、2018年(平成30年) 3月までに移行完了を要請

2014年10月 『PPP』の新Ver.4.0を“新統一基準対応版”としてリリース

(2014年10月末現在)

■【PPP】の導入実績





■ 公会計事業33期と今後の見通し

33期停滞の原因

- 販売実績【PPP】の販売実績は9本
- 原因：新統一会計基準への端境期…2015年4月から2018年3月までの備え

2014年5月 総務大臣より公会計パッケージの無償提供方針が発表され、各自治体が様子見に入る。
ただし、独自システムの導入も承認されている。

33期の成果

- 2014年10月 【PPP Ver.4 新統一基準対応版】の開発完了。
- サポート契約の増加 期首141件から期末165件に増加。
- 自治体担当者、ITベンダー向けに総務省後援によるセミナーを全国9ヶ所で開催。公会計推進態勢を構築。

34期以降『追い風』の見通し－特別交付税措置の対象となる。

- 平成27年度より、多くの自治体は固定資産台帳整備、公会計導入準備に入る。
- 期限が設けられたことにより、見積もり依頼件数が急増。人口2万人以上の自治体、約1,000団体が対象。

システム導入・運用の事前準備と導入後のフォロー

新公会計研究所	システムディ	システムディ
・現状分析 ・データ整理 ・コンサルティング	・導入コンサルタント ・【PPP Ver.4】提案 ・インストラクト・セットアップ	システムメンテナンス・運用サポート
		(社) 公会計研究センター・会計事務所
		会計処理サポート・決算支援業務

■ 新規事業2部門の計画

JASDAQ
3804



(単位 百万円)

	2014年10月期 (33期)			2015年10月期 (34期)計画	2016年10月期 (35期)計画
	計画	実績	差異		
売上高 (前年比)	505 (173%)	391 (134%)	↓114	678 (173%)	850 (125%)
営業利益 (前年比)	30 (344%)	△45 (-)	↓75	70 (-)	160 (227%)
営業利益率	6%	-	-	10%	19%
内ランニング 収入売上 (前年比)		89 (130%)	↑1	97 (109%)	350 (359%)
ランニング収入 売上比率	17%	23%	-	14%	41%

※本部費用は含まず

2015年10月期見通し

■ 主な製品と今後のラインナップ計画

JASDAQ
3804



	Value Business	Volume Business (クラウドで提供)	
	BtoB(パッケージ+サポート)	BtoB (利用料)	BtoC (利用料)
学園 ソリューション	大中規模学校法人向け 『キャンパスプラン』	小規模法人向け 『キャンパスプラン for Azure』	保護者向けWebサービス 『アンシン サイト』
ウェルネス ソリューション	民間スポーツ施設向け『Hello』 公共体育施設向け『すこやかHello』	民間スポーツ施設向け 『Hello ASP』	ウォーキングサイト『ナンポ』 アンチエイジングサービス 『Weldy Cloud』
ソフト エンジニアリング	『規程管理システム』 『契約書管理システム』 『Webフローシステム』	『規程管理システムクラウド』 『契約書管理システムクラウド』 『Webフローシステムクラウド』	
薬局 ソリューション	薬局向けレセコンシステム 『薬歴管理システム』	レセコンシステム	『薬歴情報クラウドサービス』
公教育 ソリューション		公立高校、小中学校向け 『School Engine』	生徒・父兄・教職員向け クラウドサービス ※
公会計 ソリューション	地方自治体向け 公会計システム『PPP』 財政分析システム『改革』	小規模自治体向け 『PPP クラウド』	住民向け クラウドサービス ※

※計画中

■ クラウドへの取り組みを継続・拡大

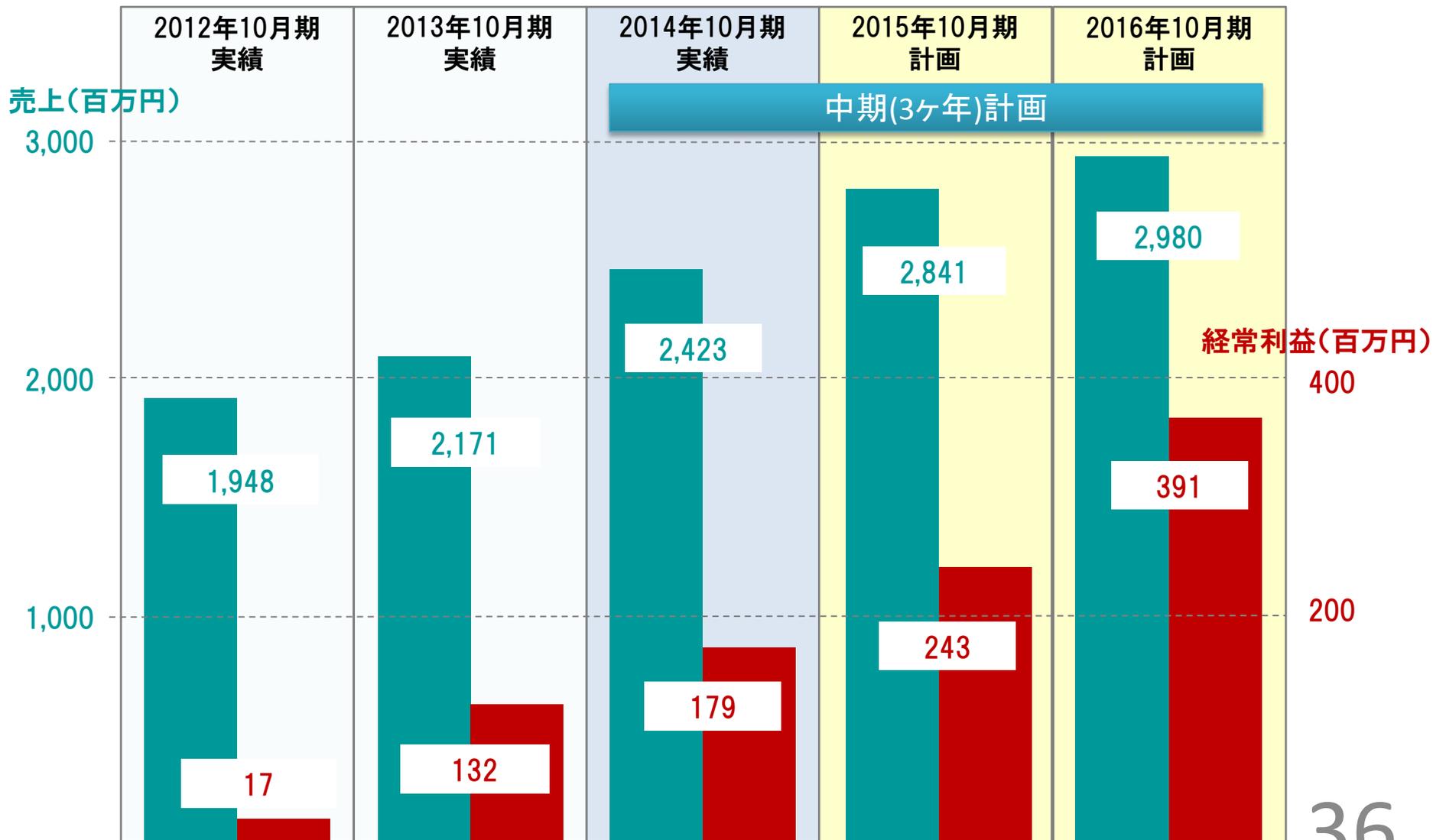
- ストック型の収益基盤を確立する（利用料収益の拡大）
- パッケージ型提供製品を順次クラウド型としても提供し、従来ターゲットとなり得なかった中小規模を対象として販売範囲を広げ、新規顧客の獲得を図り、クラウド利用料収益を伸ばします。

(単位:百万円)

	2014年10月期	2015年10月期		
		計画値	前年度増減	前年同期比(%)
売上高	2,423	2,841	418	117.3
営業利益	188	252	64	134.0
経常利益	179	243	64	136.0
当期純利益	185	196	11	105.9

今後の計画

JASDAQ
3804



本日はお忙しい中、
ご来場頂きましてありがとうございました。
今後ともシステムディを宜しくお願い致します。



株式会社 システムディ
代表取締役 堂山 道生

クラウドへの取り組みと 先行4事業の製品・サービス

■ IT業界のクラウドとは

JASDAQ
3804



クラウドソリューションとは…お客様はシステムを利用するだけ！
サーバ等の設備・保守、セキュリティ対策はクラウド（雲）の中で

全ての仕組みは雲(クラウド環境=仮想環境)の中！
お客様にIT知識がなくても気にせず利用できます

『キャンパスプラン クラウド
会計・給与システム』

会員・運営管理システム
『Hello ASP』

『規程管理システム
クラウド・サービス』

公立小中高校向け校務支援サービス
『School Engine』

データセンターのクラウド環境で顧客のデータの安全性を保証！

学園

企業・団体
総務部門

公立
小中高校

フィットネス
クラブ



39

■ クラウドへの流れはシステムディに追い風

JASDAQ
3804



システムディはクラウドへの取り組みを継続・拡大しています。



【ユーザのクラウドサービス利用によるメリット】

- ① 導入時初期費用の大幅な削減
 - ◆ サーバ・セキュリティ機器等のハードウェア費用が不要
 - ◆ 基本ソフト・ミドルウェア等のライセンス費用の削減
- ② 1顧客では費用面で導入が難しかった高度なセキュリティ環境を利用可能
- ③ 運用・メンテナンスコストの削減

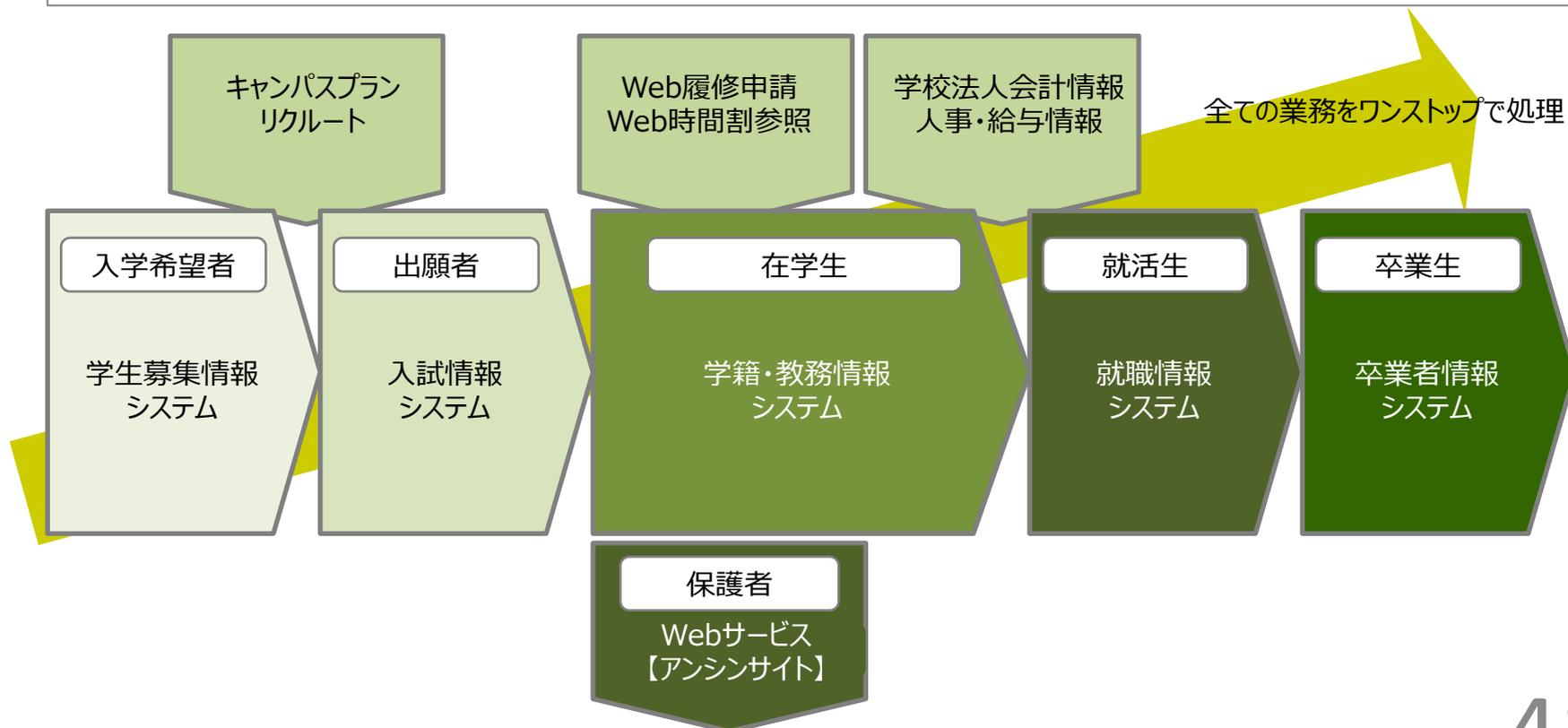
クラウド利用の急拡大

システムディのクラウドサービス群は34頁をご覧ください。

学園運営をトータルに支援する学園情報管理システム【キャンパスプラン】

学生募集、入試、入学から卒業、就職まで、学校業務の全てを支えるシステムを提供

- クラウドサービス『キャンパスプラン クラウド』、『キャンパスプラン for Azure』
- 施設情報管理システム『キャンパスファシリティ情報システム』
- ポートフォリオシステム『キャンパスプラン ポータル』



詳しくは同封のパンフレットをご覧ください

■ 先行4事業【ウェルネスソリューション】

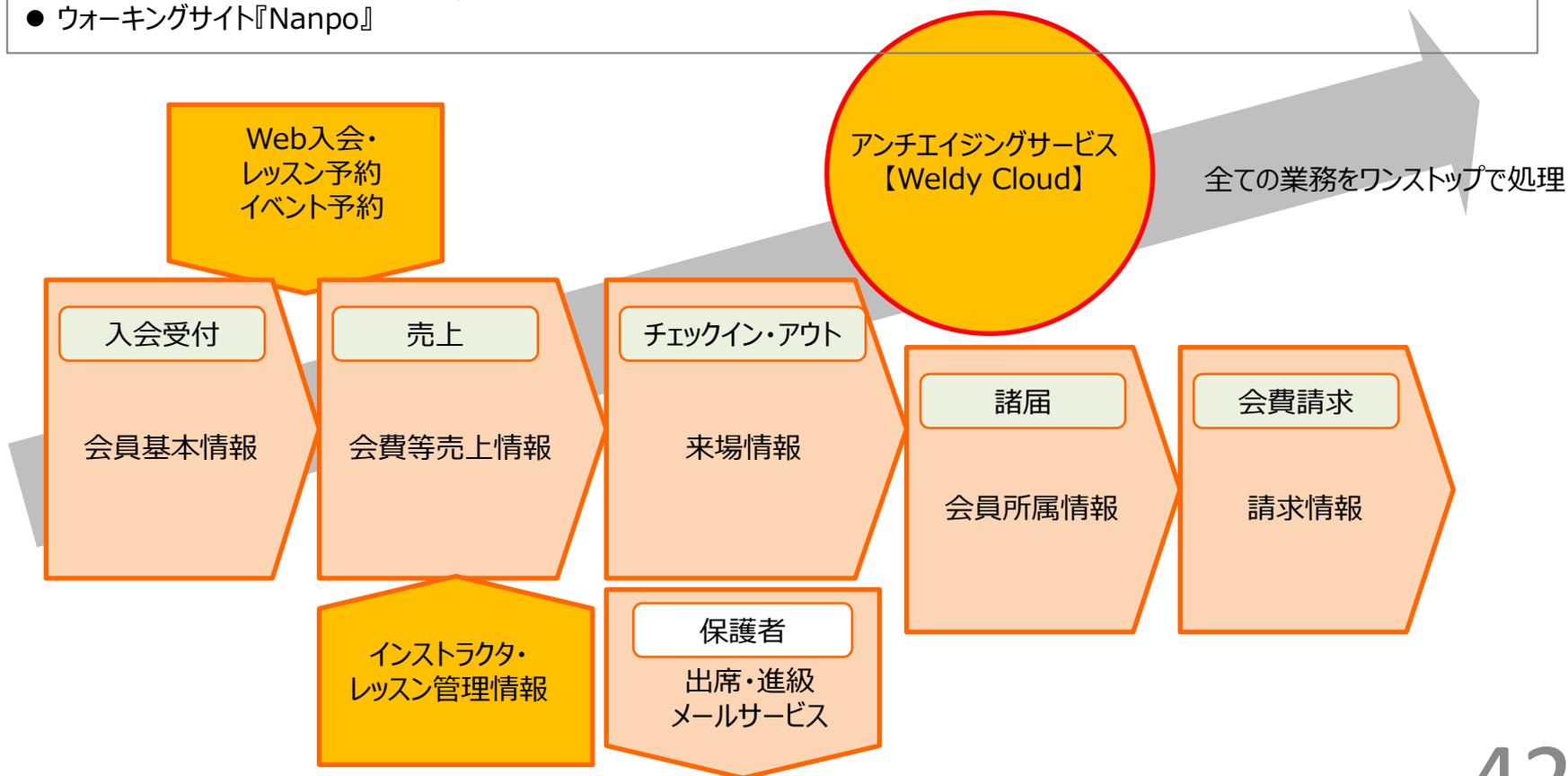
JASDAQ
3804



フィットネスクラブ、体育館の会員・運営管理システム【Hello】

フロント業務から本部会計処理まで、クラブを運営する為の事務処理をトータルにサポート

- 公共体育施設向け施設運営システム『すこやかHello』
- 会費集金代行包括サービス『D-Collect』
- Web給与明細システム『Hello Pay Look』
- ウォーキングサイト『Nanpo』



詳しくは同封のパンフレットをご覧ください

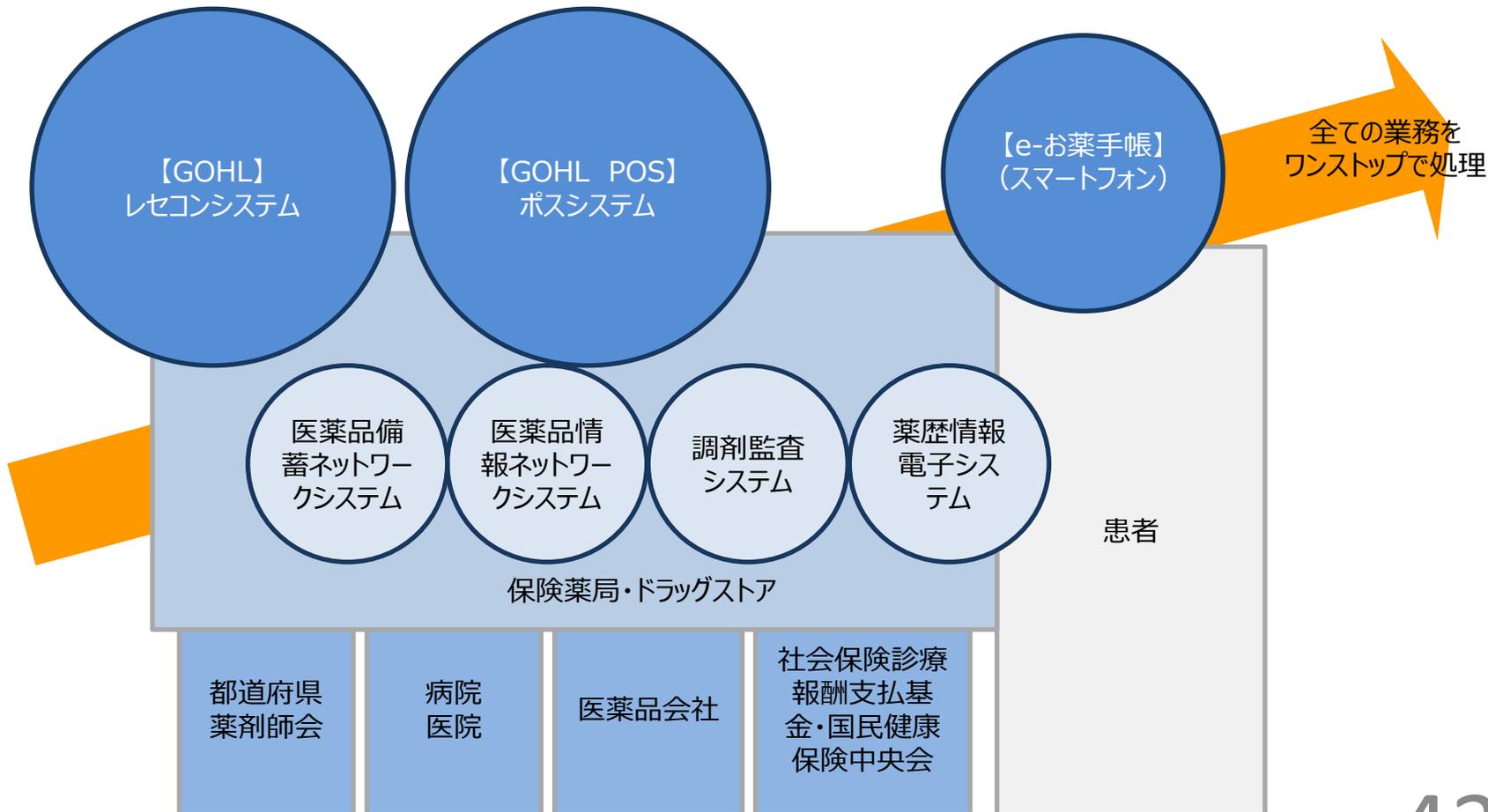
■ 先行4事業 【シンク 薬局ソリューション】

JASDAQ
3804



【GOHL】【GOHL POS】で保険薬局業務をサポート

株式会社シンの保険薬局向けシステム



詳しくは同封のパンフレットをご覧ください

■ 先行4事業【ソフトウェアリング】

JASDAQ
3804



民間企業・公共団体向けコンプライアンス、コーポレートガバナンス支援システム

規程管理システム

契約書作成・管理
システム

マニュアル作成・
管理システム

承認・決裁Web
フローシステム

企業・学園・公益法人の対象部門



企業内の不正行為・反社会的行為

詳しくは同封のパンフレットをご覧ください